



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
 コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 篤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森 忠嗣

TEL 06-6365-8120

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	217,124	1.0	2,854	15.0	3,511	8.9	1,569	468.5
2019年3月期第1四半期	219,282	3.3	3,360	6.7	3,855	17.0	276	93.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 371百万円 (85.4%) 2019年3月期第1四半期 2,548百万円 (76.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.70	12.62
2019年3月期第1四半期	2.24	2.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	649,822	277,502	42.5
2019年3月期	663,335	279,603	42.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 276,295百万円 2019年3月期 278,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	458,600	3.2	6,050	0.8	6,400	0.8	3,500		28.32
通期	947,300	2.2	18,400	9.9	18,500	13.5	7,700	256.1	62.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	125,201,396 株	2019年3月期	125,201,396 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,584,601 株	2019年3月期	1,609,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	123,604,457 株	2019年3月期1Q	123,493,761 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.(3)将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 貸借対照表の状況	3
(3) 将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

連結経営成績

(百万円)

	17/06累計		18/06累計		19/06累計	
	金額	金額	金額	前年比	増減	
百貨店事業	99,712	102,693	103,643	100.9%	+ 950	
神戸・高槻事業	-	9,952	9,874	99.2%	△ 77	
百貨店事業計	99,712	112,645	113,518	100.8%	+ 872	
食品事業	96,478	90,589	87,971	97.1%	△ 2,618	
不動産事業	3,301	2,380	2,129	89.5%	△ 250	
その他事業	12,827	13,667	13,505	98.8%	△ 161	
売上高	212,319	219,282	217,124	99.0%	△ 2,157	
百貨店事業	3,319	3,420	3,001	87.7%	△ 419	
神戸・高槻事業	-	△ 54	△ 128	-	△ 73	
百貨店事業計	3,319	3,365	2,872	85.3%	△ 493	
食品事業	△ 703	△ 768	△ 803	-	△ 34	
不動産事業	1,552	1,166	1,160	99.5%	△ 6	
その他事業	2,525	3,760	2,893	76.9%	△ 866	
調整額	△ 3,091	△ 4,164	△ 3,268	-	+ 895	
営業利益	3,601	3,360	2,854	85.0%	△ 505	
経常利益	4,644	3,855	3,511	91.1%	△ 343	
特別利益	2,518	-	-	-	-	
特別損失	786	2,163	254	11.7%	△ 1,909	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,027	276	1,569	568.5%	+ 1,293	

※セグメント別売上高は外部顧客への売上高

※2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社阪急阪神百貨店へ移管し、同日付で屋号をそごう神戸店から「神戸阪急」、西武高槻店から「高槻阪急」へと変更する予定のため、今年度より神戸・高槻事業を百貨店事業に統合。

▶売上高

阪急本店などが伸長した百貨店事業が売上高を伸ばしましたが、食品事業が前年同期を下回ったことなどにより、売上高は前年同期比99.0%となりました。

▶営業利益および経常利益

売上高減少に伴う売上総利益の減少などにより営業利益は5億円、経常利益は3億円の減益となりましたが、ほぼ想定通りに推移しております。

(百貨店事業)

2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社阪急阪神百貨店へ移管し、同日付で屋号をそごう神戸店から「神戸阪急」、西武高槻店から「高槻阪急」へと変更する予定のため、今年度より神戸・高槻事業を百貨店事業に統合しております。

国内需要・インバウンド需要ともに堅調に推移した阪急本店の売上高が前年同期比104.1%と伸長しました。また、阪神梅田本店は、2018年6月の建て替え第1期棟開業景気の反動などにより、売上高前年同期比は87.4%となりました。そごう神戸店及び西武高槻店は、屋号やサービスを変更することなく運営し、ほぼ前年同期並みの売上高となりました。以上の結果、百貨店事業の売上高前年同期比は100.8%、営業利益は4億円の減益となりました。

(食品事業)

食品事業は、前年同期に対して減収減益となりました。

イズミヤ株式会社では、建て替え店舗や新店が売上に寄与しましたが、再編を進めているGMS店舗において非食品部門の売場面積が減少していることなどから、売上高前年同期比は99.6%、営業利益は前年同期に対して1.4億円の減益となりました。

株式会社阪急オアシスは、売上高前年同期比94.2%と前年を下回りましたが、価格政策の見直しおよび経費削減の取り組みにより、営業利益は前年同期に対して0.8億円改善いたしました。

(不動産事業)

千里中央地区の商業施設・セルシーの信託受益者である合同会社サントルにおいて、再開発に伴い空き区画が増加していることにより、減収となりました。

(その他事業)

子会社からの配当金が減少したエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社が減収減益となりました。

▶親会社株主に帰属する四半期純利益

特別損失は固定資産除却損や店舗等閉鎖損失などを2億円計上し、前年同期に対して19億円減少いたしました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億円、前年同期に対して12億円の増加となりました。

(2) 貸借対照表の状況

				(百万円)			
	18/06末	19/03末	19/06末		18/06末	19/03末	19/06末
現金及び預金	42,569	55,229	35,080	支払手形及び買掛金	57,023	59,732	52,661
受取手形及び売掛金	50,759	49,886	51,841	借入金及び社債	149,353	164,920	166,471
棚卸資産	35,939	33,920	35,042	負債合計	370,906	383,731	372,319
流動資産合計	140,905	150,003	133,429	株主資本	240,208	239,755	238,884
固定資産合計	510,903	513,331	516,392	純資産合計	280,902	279,603	277,502
資産合計	651,808	663,335	649,822	負債純資産合計	651,808	663,335	649,822

(3) 将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績はほぼ想定通り推移しており、第2四半期累計及び通期の予想については、2019年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,229	35,080
受取手形及び売掛金	49,886	51,841
商品及び製品	31,600	32,918
仕掛品	329	233
原材料及び貯蔵品	1,990	1,889
未収入金	6,778	5,677
その他	4,643	6,228
貸倒引当金	△454	△440
流動資産合計	150,003	133,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	115,608	119,383
機械装置及び運搬具（純額）	3,420	3,420
土地	147,281	146,368
建設仮勘定	7,666	7,964
その他（純額）	10,882	11,220
有形固定資産合計	284,860	288,358
無形固定資産		
のれん	4,076	4,020
その他	14,685	15,176
無形固定資産合計	18,762	19,197
投資その他の資産		
投資有価証券	121,149	120,447
長期貸付金	4,571	6,189
差入保証金	72,290	72,088
退職給付に係る資産	-	15
繰延税金資産	11,942	10,963
その他	2,683	2,078
貸倒引当金	△2,928	△2,946
投資その他の資産合計	209,709	208,836
固定資産合計	513,331	516,392
資産合計	663,335	649,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,732	52,661
短期借入金	8,000	29,500
1年内返済予定の長期借入金	20,201	400
未払金	19,655	15,001
リース債務	749	748
未払法人税等	4,151	695
商品券	29,676	29,217
賞与引当金	5,018	4,070
役員賞与引当金	156	51
店舗等閉鎖損失引当金	967	996
ポイント引当金	1,823	2,004
資産除去債務	68	60
その他	23,888	28,677
流動負債合計	174,092	164,084
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	116,718	116,571
繰延税金負債	26,152	25,825
再評価に係る繰延税金負債	266	266
役員退職慰労引当金	221	187
商品券等回収引当金	4,020	4,137
退職給付に係る負債	16,827	16,227
長期末払金	621	572
リース債務	8,686	8,512
長期預り保証金	9,820	9,812
資産除去債務	2,755	2,786
その他	3,548	3,334
固定負債合計	209,639	208,235
負債合計	383,731	372,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	92,675	92,660
利益剰余金	132,278	131,376
自己株式	△2,995	△2,949
株主資本合計	239,755	238,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,864	41,314
土地再評価差額金	124	124
為替換算調整勘定	△788	△547
退職給付に係る調整累計額	△3,591	△3,481
その他の包括利益累計額合計	38,608	37,410
新株予約権	1,235	1,203
非支配株主持分	4	4
純資産合計	279,603	277,502
負債純資産合計	663,335	649,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	219,282	217,124
売上原価	155,478	154,107
売上総利益	63,804	63,017
販売費及び一般管理費	60,444	60,162
営業利益	3,360	2,854
営業外収益		
受取利息	19	30
受取配当金	770	724
諸債務整理益	409	433
その他	273	454
営業外収益合計	1,473	1,642
営業外費用		
支払利息	228	183
商品券等回収引当金繰入額	326	348
その他	422	453
営業外費用合計	978	985
経常利益	3,855	3,511
特別損失		
固定資産除却損	330	150
店舗等閉鎖損失	281	101
減損損失	294	2
災害による損失	106	-
進路設計支援費用	674	-
新店舗開業費用	476	-
特別損失合計	2,163	254
税金等調整前四半期純利益	1,691	3,257
法人税、住民税及び事業税	458	400
法人税等調整額	956	1,286
法人税等合計	1,415	1,687
四半期純利益	276	1,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	276	1,569

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	276	1,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,468	△1,549
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	△37	58
退職給付に係る調整額	62	110
持分法適用会社に対する持分相当額	△220	182
その他の包括利益合計	2,272	△1,198
四半期包括利益	2,548	371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,548	371
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	112,645	90,589	2,380	13,667	219,282	—	219,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65	1,170	4,421	9,151	14,808	△14,808	—
計	112,710	91,759	6,801	22,819	234,091	△14,808	219,282
セグメント利益又は 損失(△)	3,365	△768	1,166	3,760	7,524	△4,164	3,360

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,164百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	113,518	87,971	2,129	13,505	217,124	—	217,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	1,166	4,269	8,093	13,603	△13,603	—
計	113,592	89,137	6,399	21,599	230,728	△13,603	217,124
セグメント利益又は 損失(△)	2,872	△803	1,160	2,893	6,123	△3,268	2,854

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△3,268百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「百貨店事業」、「神戸・高槻事業」、「食品事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の5区分から、「百貨店事業」と「神戸・高槻事業」を統合した4区分に変更しております。この変更は、2019年10月1日付でそごう神戸店・西武高槻店の事業を株式会社阪急阪神百貨店へ移管することに伴うものです。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

連結

販売費及び一般管理費の状況

科目	金額	前年比	(百万円)
			増減
人件費	23,690	99.2%	△ 180
賃借料	9,876	99.8%	△ 23
宣伝装飾費	2,976	86.2%	△ 476
減価償却費	4,040	106.1%	+ 231
委託作業費	4,912	103.1%	+ 148
販売手数料	3,113	99.6%	△ 13
運搬費	3,571	100.7%	+ 24
その他	7,979	100.1%	+ 6
販売費及び一般管理費	60,162	99.5%	△ 281

営業外損益の状況

科目	金額	前年比	(百万円)	科目	金額	前年比	増減
			増減				
営業外収益	1,642	111.5%	+ 168	営業外費用	985	100.7%	+ 7
受取利息	30	153.2%	+ 10	支払利息	183	80.2%	△ 45
受取配当金	724	94.0%	△ 46	商品券等回収 引当金繰入額	348	106.8%	+ 22
諸債務整理益	433	105.8%	+ 23	その他	453	107.2%	+ 30
その他	454	166.1%	+ 180				

特別損益の状況

科目	金額	(百万円)
		主な内容
特別利益	-	(対前年増減なし)
特別損失	254	(対前年△1,909百万円)
固定資産除却損	150	阪急阪神百貨店、イズミヤ
店舗等閉鎖損失	101	イズミヤ
減損損失	2	

(株)阪急阪神百貨店

経営成績

(百万円)			
	金額	前年比	増減
売上高	103,616	101.0%	+ 1,002
売上総利益	25,245	99.6%	△ 104
(売上総利益率)	24.36%	-	△0.34pt
その他の営業収入	142	99.3%	△ 1
販売費及び一般管理費	22,355	101.3%	+ 277
(販管費率)	21.57%	-	+0.06pt
営業利益	3,033	88.8%	△ 382
(営業利益率)	2.93%	-	△0.40pt

}	主要店舗の売上増減	
	阪急本店	+2,278
	博多阪急	+483
	阪神梅田本店	△1,605

- ▶阪急本店の免税売上高前年同期比110%、構成比16%
- ▶阪神梅田本店は、前年の建て替え前の売りつくしバーゲン、建て替え第Ⅰ期棟開業景気の反動により減収
- ▶減価償却費や委託作業費などの経費増加

店別売上高、入店客数

(百万円、千人)				
	金額	前年比	入店客数	前年比
阪急本店 ※1	58,233	104.1%	11,355	96.1%
阪神梅田本店	11,157	87.4%	7,472	92.9%
千里阪急	3,564	98.6%	1,201	100.8%
川西阪急	3,478	99.0%	1,469	99.6%
宝塚阪急	1,737	100.4%	※2 -	-
西宮阪急	5,922	103.3%	3,231	103.9%
三田阪急	279	100.8%	※2 -	-
博多阪急	12,279	104.1%	6,628	100.6%
阪急メンズ東京	3,068	91.3%	650	111.2%
大井食品館	1,042	101.9%	1,312	98.5%
都筑阪急	1,056	99.0%	879	99.7%
あまがさき阪神	652	102.6%	※2 -	-
阪神・にしのみや	1,028	100.3%	1,051	109.5%
阪神・御影	116	96.2%	1,211	100.9%
支店計	34,225	101.0%	17,636	101.8%
全店計	103,616	101.0%	36,464	98.1%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 入店客数計測器を設置していないため

商品別売上高

(百万円)

	金額	前年比	構成比
紳士服・洋品	9,423	102.9%	9.1%
婦人服・洋品	14,475	97.1%	14.0%
子供服・洋品	2,285	97.8%	2.2%
その他の衣料品	2,570	91.9%	2.5%
衣料品	28,754	98.5%	27.8%
身の回り品	20,987	103.8%	20.3%
家庭用品	3,120	88.5%	3.0%
食料品	26,596	100.6%	25.7%
食堂・喫茶	2,365	101.9%	2.3%
雑貨	20,821	104.1%	20.1%
サービス	590	105.8%	0.6%
その他	380	101.1%	0.4%
合計	103,616	101.0%	100.0%

月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月
阪急本店 ※1	104.6%	100.4%	107.6%
阪神梅田本店	84.9%	100.5%	79.1%
支店 計	101.2%	99.7%	102.0%
全店 計	101.0%	100.2%	101.8%
阪神本店除く全店計	103.4%	100.1%	105.4%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

イズミヤ(株)

経営成績

	(百万円)		
	金額	前年比	増減
売上高	52,858	99.6%	△ 224
売上総利益	13,997	98.1%	△ 263
(売上総利益率)	26.48%	-	△0.38pt
その他の営業収入	3,628	99.7%	△ 10
販売費及び 一般管理費	18,348	99.3%	△ 132
(販管費率)	34.71%	-	△0.10pt
営業利益	△ 722	-	△ 141
(営業利益率)	-	-	-

既存店売上高	
	前年比
食料品	96.7%
衣料品	95.2%
住居関連品	93.8%
合計	96.0%
店舗数	(店)
合計	86
(前年差)	+ 3

開閉店の状況

開店	和泉府中店(大阪府)、新中条店(大阪府)
閉店	東寝屋川店(大阪府)

月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月
全店	96.4%	99.5%	99.6%
既存店	94.6%	97.2%	96.5%

(株)阪急オアシス

経営成績

(百万円)				既存店売上高	
	金額	前年比	増減		前年比
売上高	26,694	94.2%	△ 1,639	合計	95.4%
売上総利益	6,940	99.1%	△ 65		
(売上総利益率)	26.00%	-	+1.27pt	店舗数	(店)
その他の営業収入	1,639	98.8%	△ 20		店舗数
販売費及び一般管理費	8,755	98.1%	△ 173	合計	77
(販管費率)	32.80%	-	+1.29pt	(前年差)	△ 2
営業利益	△ 176	-	+ 87	※休業中の茨木東奈良店を除く	
(営業利益率)	-	-	-		

開閉店の状況

開店	福島ふくまる通り57店(大阪府)
閉店	—

月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月
全店	94.4%	93.6%	94.7%
既存店	97.0%	94.9%	94.1%